

くらしナビ ◆ ライフスタイル

結果は自分で引き受ける

乳がんはほかのがんに比べて進行が遅く、最も重い「ステージ4」でも治療をしながら、比較的長く日常生活を送ることができる。仕事や子育てに忙しい30～50代の患者も多いが、それぞれの人生観に照らしながら、どのように病と闘っているのか。同年代のステージ4の乳がん患者を訪ねた。

がんステージ4を生きる

笑顔で過ごしたい

②

●術後3年で転移

「息子の高校の卒業式には出られないだろうと思つていました」。東京都に住む地方公務員の広瀬満重さん(53)はそう話した。再発からすでに6年半が過ぎ、小学生だった息子は今春大学生になった。「抗がん剤で髪が抜けないことに」と2年前に遺影も撮つたが、80代の両親が健在で、できれば逆縁は避けたいと思う。

最初に乳がんが見つかったのは2005年。そこには1歳で、ステージ1の早期発見だった。しかし、手術を経て3年後に胸骨や鎖骨、両肺などに転移。半年間休職した後は、治療と仕事を両立させながら今に至る。

「出るのは全て出た」といううほどつらかった。むくみ、腹痛、倦怠感、吐き気……。

両足の爪は全部がれ、強い痛みを伴う「手足症候群」で靴が履けなくなつた。感染症による発熱で緊急入院したこともある。何度も「もう嫌だ」と思ったが、副作用に見合った効き目があれば治療をやめるという選択肢はなかった。何種類かの薬を経て、今は規定より少量の分子標的治療薬を服用。この間、職場の理解や夫のサポートが大きな支えとなってきた。

「再発治療では患者自身の生き方が問われます。どんな道を選んでも、結果は、良くも悪くも自分で引き受けられるしかない」

先のことは考えない。おいしいものを食べ、行きたいところに行く。「休日は予定がないいっぱいです」と広瀬さんは笑う。

●薬の投与量に上限



パソコンに向かう吉野実香さん。窓の外に緑が広がる部屋で、毎日、ブログの読者と対話する=京都市で

都心の国際通信社で働いていた10年、ステージ2の乳がんで右乳房を全摘出したが、昨年7月、肝臓や骨などへの転移が見つかる。退職し、実家のある地方で療養生活を始めた。今年1月には胸膜転移のため呼吸困難に陥りICU(集中治療室)に。退院後は、要介護2の認定を受けたことなどから、有料老人ホームに入る。当初は酸素ボンベを持ち込んだが、今は症状が改善した。「生命力が強いんですね」と話すその目は輝いていた。

現在の抗がん剤は、がん進行の指標となる「腫瘍マーカー」が正常値に下がるほど効果があった。しかし一人当たりの投与量に上限があり、日々、仕掛けの様子をひとつも逃さずまいと見入りました。

大きな花火が開くと辺り一面明るくなつて、河川敷を埋め尽くした多くの観客が見えます。スター・マインの多彩さ、ナイアガラの滝の豪華さに、皆の声が響きます。幼い時と同じです。お孫に、何か残すことができたでしょうか。

神奈川県綾瀬市

吉野さんは静かにほほ笑んだ。

吉野さんの選択に、医師の多くは異を唱えるかもしれない。

最初にがんが見つかった時に治療すれば、治療の可能

性もあったはずだ。しかし、

今と同じ充実した日々はなかつたかもしれない。医師は患

者を救いたいからこそ治療に突き進み、患者は、その効果

の不確実性ゆえに迷いを深め

る。そのそれを解消することは難

しいのかもしれない。

【三輪晴美、写真も】

II つづく

り、外出の機会も少なくなるが、家事は普通にならない。吉野さんは、静かにほほ笑んだ。吉野さんの選択に、医師の多くは異を唱えるかもしれない。最初にがんが見つかった時に治療すれば、治療の可能性もあったはずだ。しかし、今と同じ充実した日々はなかつたかもしれない。医師は患者を救いたいからこそ治療に突き進み、患者は、その効果の不確実性ゆえに迷いを深めている。徐々に食欲が減

がん患者

国立がん研究センターがまとめた「最新がん統計」によると、生涯でがんに罹患する確率は、男性60%、女性45%。部位は、多い順から男性は胃、肺、大腸、前立腺、肝臓、女性は乳房、大腸、胃、肺、子宮。一方、2012年にがんで死亡した人は約36万人。部位は、多い順から男性は肺、胃、大腸、肝臓、脾臓、女性は大腸、肺、胃、脾臓、乳房。がんで死亡する確率は男性が26%、女性は16%だった。

ステージ4の治療

がんの種類によって治療は変わるが、一部の特殊な場合を除き、転移部分の切除(手術)はしない。抗がん剤による薬物療法が中心となるが、耐性ができると薬を変える必要がある。乳がんは、比較的抗がん剤が効きやすく、分子標的治療薬を含めた薬の種類も多い。

花火大会

生まれ育った町の花火大会に行つきました。全国的に名が知られているので年々人出が増し、今年は50万人を超えたそうです。幼いころは場所取りをせずとも河川敷が見渡せ、打ち上げも仕掛けもよく見えました。家族とともに出かける数少ない娛樂の機会でした。学生のころは音楽が他界し、花火見物の帰り道、打ち上げ花火を見る程度でした。勤めていた時は忙しくてまたたく無関心でした。

女の気持ち

2014.8.20

家庭を持ってからは夫の両親、親戚のもとなしに追われ、1年で一番せわしい日々となりました。時折連れ立つて見物に行く人も混みで近寄れず、おなかに響く音と頭上に広がる花火で臨場感を味わうのみでした。仕掛け花火をもう一度見たいと思うようになつたのはこのごろでした。花火の音がかすかに聞こえるこの地に引っ越して17年。両親が他界し、花火見物の帰り道、背負ってくれたおじも亡くなっています。花火を見たいという思いがよつこります。

そして、今年河川敷の有料観覧席で思いがかないました。目の前で繰り広げられる打ち上げ、仕掛けの様子をひとつも見逃さずまいと見入りました。大きな花火が開くと辺り一面明るくなつて、河川敷を埋め尽くした多くの観客が見えます。スター・マインの多彩さ、ナイアガラの滝の豪華さに、皆の声が響きます。幼い時と同じです。お孫に、何か残すことができたでしょうか。

神奈川県綾瀬市

食卓の一品

1マンペールとサンショウの焼きおにぎり

1人前 633キロ、塩分 0.9グラム

お酒の後の締めの人気メニューです！

主な材料》(2人分)ご飯
膳分△カマンペールチーズ
個△サンショウの実のしょ
ゆ漬け大さじ3△塩小さじ
△オリーブ油大さじ1
作り方》カマンペールは2枚角に切

料理研究家 松田美智子

感想やご意見を

連載への感想やご意見、体験などをお寄せください。郵便は〒100-8051(住所不要)毎日新聞くらしナビ「がんステージ4を生きる」係へ。メールは表題を「がん」としてkurashi@mainichi.co.jpへ

♥「がんは放置せよ」と主張する本が売られています。支持される背景には強い医療不信がありそうですが、いざ自分が病に直面した時は、冷静な判断が求められます。